

総務

経済委員会
所管事務調査

◆調査日時

平成二十五年一月三十日

◆調査事項

本町における合併処理浄化槽の普及及び促進について

◆調査の経過及び内容

本町では昭和五十三年から都市計画区域内用途地帯を中心として下水道の整備が進められ、その後、虹別、塘路、磯分内地区と進められてきた。

平成二十三年度における本町の生活排水の水洗化人口率は60・8%になっている。

現在策定中の標茶町生活排水処理計画では、平成三十四年度を目標に個別の合併処理浄化槽による整備を進め、生活排水処理率を92%としている。

◆委員会の所見

本町の生活排水処理は、市街地を中心に公共下水道事業等が進められ、生活環



工事中の合併浄化槽

境が整ってきているが、下水道事業計画区域外においては、合併処理浄化槽設置世帯を除いては未処理のまま放流されているのが現状である。生活環境の改善、自然環境の保全のためにも早急に合併処理浄化槽の設置を進めることが望まれる。高齢化や過疎化が進む中ではあるが、生活排水対策の必要性を理解いただき、普及、促進のために啓発活動を行い、住民の要望に応え少しでも早く設置可能となるよう、個人負担の軽減を図り事業推進に努力されることに期待する。

厚生文教委員会
所管事務調査

◆調査日時

平成二十四年五月十八日

◆調査場所

釧路市介護老人福祉施設

釧路北園啓生園

老人保健施設

ケアコートひまわり

標茶町役場 議員室

◆調査日時

平成二十四年九月二十八日

◆調査場所

標茶町役場 議員室

◆調査日時

平成二十四年十月二十六日

◆調査場所

標茶町コッタ口原野 有限会社こすもす 標茶町役場 議員室

◆調査日時

平成二十四年十一月十五日

◆調査場所

別海町西春別駅前 J A 道東あさひケアセンター 標茶町役場 議員室

◆調査日時

平成二十五年一月二十一日

◆調査場所

標茶町農業協同組合 標茶町役場 議員室

◆調査事項

1、介護施設の現状について
2、農村における高齢者介護の課題について

◆委員会の所見

市街地では、生活に必要な施設や医療機関が集中しているため一人でも用事が

こなせる利便性がある反面、近隣との接点が少なくなってきたという傾向もあり、高齢者世帯等の見守り体制が足りていないという課題がある。農村地域では、比較的地域のつながりが残っている反面、交通の便が悪く、商店も少ないなど利便性に欠けている。

ひとり暮らし、高齢者だけの世帯だけでなく、同居しているも昼間はひとり暮らしとなる高齢者が増加している。これらの高齢者は、農村地域では農作業などの用事もあつて生きがいがいくりの環境に恵まれている側面もあるが、地域や近隣の接点が少ない高齢者が増えていると推測される。高齢者が孤立せずに住み慣れた地域で暮らし続けるための取り組みが必要である。

高齢者世帯の増加とともに老々介護等が増加している中で在宅介護に限界を感じ、施設入所を希望している人が増加している状況である。また、在宅での生活を続けたいという希望に応えられるよう、保健・医療・福祉・介護の連携した在宅サービスの充実を図る必要がある。

市街地では空き家等を活用した集いの場づくり、農村地域では田園環境を活用した生きがい活動の場づくりなど、それぞれの地域特性を生かした健康長寿のまちづくりに結びつく地域資源があり、今後はさらに一歩進んで、施設の人的・物的資源を地域に発展し、在宅サービスの拠点を各地区に設けて地域の高齢者を支援するとともに、各地域に通所介護の拠点を設け、積極的にその機能を高齢者にとって身近な地域で提供することで、地域交通の確保や地域間の交流促進などによって、これらの地域資源を活用し、いつまでも元気に暮らせるまちづくりの推進が求められる。

農村地域の高齢者介護においては、町、JAがさらに提携し実態を把握し早急に高齢者対策を進めていくことが必要である。



釧路市内の介護施設…居酒屋も

第一回定例会 議会日誌から

十二月十八日	広報調査特別委員会
十二月二十六日	釧路公立大学事務組合会議
一月七日	広報調査特別委員会
一月十五日	広報調査特別委員会
一月十七日	広報調査特別委員会
一月二十一日	厚生文教委員会
一月二十八日	議会運営委員会
一月二十九日	第一回臨時会
一月二十九日	全員協議会
一月三十日	総務経済委員会
二月七日	厚生文教委員会
二月二十二日	川上郡衛生処理組合議会
二月二十六日	釧路北部消防事務組合議会
三月五日	議会運営委員会
三月八日、十三日	第一回定例会



3月11日 2時46分 議会開会中に黙とう

編集後記

「しべちゃ議会だより」89号をお届けします。

三月の第一回定例会は、平成二十五年度の予算を決める重要な議会でした。また、十五ヶ月予算とも言われる国の予算案が提案され、二十四年度の補正も大きな額となりました。地域住民の暮らしにどのような影響が出てくるか注視していかなければなりません。

町議会には、予算議会でもあり白熱した議論が展開され、熱心に傍聴もしていただきました。

今回の議会開会中にあの東日本大震災二年目を迎えました。三月十一日14時46分、議会を一時中断し全員起立し黙とうをささげました。標茶町役場庁舎内も放送がかかり黙とうしました。被災地の日も早い復興を願うものです。

さて、現在の編集メンバーは、今回の議会だよりで交代します。ご愛読ありがとうございます。

委員長 深見 迪
副委員長 長尾 式宮
委員 松本 哲也
 菊地 誠道
 後藤 勲
 田中 敏文
 川村多美男

標茶町議会アドレス <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/yakuba/gikai/>